



2020年12月4日【第1191回】



クラブ会長ターゲット
「会員増強なくしてクラブ繁栄なし」
"If members don't increase, club won't prosper."
2020-2021年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐久間 裕章



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
"Rotary Opens Opportunities"
2020-2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 佐久間 裕 章
副 会 長 : 佐藤 大 輔
幹 事 : 坂本 康 朋
プログラム長 : 篠塚 慎之介
(会報担当)

12月4日(金)の卓話

11月18日の出席率

12月9日の卓話

東京臨海 RC・東京臨海東 RC・東京臨海西 RC
合同例会
(東京臨海西 RC 創立 3 周年記念例会)
「障がい者が輝く共生社会を求めて」
江戸川さんしょうがいフォーラム
事務局長 杉 啓以子様

会員在籍者数 54 名
会員出席者数 39 名
会員欠席者数 15 名
本日の出席率 75.00%

「会員忘年会・
東京臨海北斗ロータリー衛星
クラブ発足式」

＜第1190回 例会報告 2020年11月18日＞

司会：柴田会員

：ソングリーダー：伊藤副委員長



■点鐘：佐久間裕章会長

皆さんこんにちは。もう11月も10日位で終わりということで今年も1年早かったなと思います。12月は忘年会、そして衛星クラブの発足式がございます。皆様の出欠は整っておりますので、私ども執行部としては楽しい発足式を迎えられるように急ピッチで準備を進めておる状況でございます。また新入会員に関しては今年度、まだまだ残すところ半年以上ありますので、ぜひ皆様のお力添えをお願いしたいと思っております。あと、この場で皆様にお伝えしたいことがございます。我々臨海 RC は新入会員が増えているということで、顔と名前が一致しないということが、ちょこちょこ起きております。ですので、カウンセラーの皆様と紹介者の皆様で今度、日程の方は分かり次第、皆様に御報告させていただくんですが、この人はどういう人か、どういう性格を持っているのか、どういう仕事をやっているのか今一度、カウンセラー、紹介者で開示をさせていただきたいという企画を今考えております。またわかり次第皆様に御報告させていただきたいと思っております。

■ロータリーソング 「それでこそロータリー」

■「四つのテスト」斉唱(歌)

■「ロータリーの目的」東京臨海 RC Ver. 唱和
：佐藤大輔副会長

■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐久間裕章会長
ゲストスピーカー 金城健二様(当クラブ会員)

■ビジター紹介：村社会員
本日はいらっしやいませでした。

■会長報告：佐久間裕章会長

・地区指名委員会は、東京北 RC 会員 栃木一夫(とちぎ かずお)君を 2023-24 年度当地区ガバナー(ガバナーノミニージェグネート)候補者に指名いたしました。

指定期限までに他の対抗候補者の推薦がありませんでしたので、地区指名委員会の指名通り、栃木一夫君が 2023-24 年度当地区ガバナーに決定いたしました。

・年次総会を 2020 年 12 月 9 日(水) 17:30 より東武ホテルレバント東京にて開催致しますので、会員皆様のご出席をお願い致します。

■幹事報告：坂本康朋幹事

・11月の定例理事役員会報告を11月13日に会員皆様へメール送信致しました。

・次週11月25日は、当クラブの例会は休会です。

- ・次回例会は、12月4日（金）12：30からの3RC合同例会になりますので、お間違いないようにご出席下さい。12月2日（水）の例会はありません。



■委員会報告

- ・ゴルフ幹事（榎本ゴルフ幹事）

地区懇親ゴルフ決勝大会は、11月20日（金）です。参加の皆様よろしくお願い致します。

- 出席状況報告：虻川会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。



■ニコニコBOX報告：杉浦会員

（ご意向）本日スピーチさせていただきます。宜しくお願い致します。：金城会員

（ご意向）本日のインニエーションスピーチ、金城さん、楽しみにしております。宜しくお願いします。：佐久間裕章会長、佐藤大輔副会長、坂本康朋幹事、井上会員、高橋会員、今井博会員、村社会員、伊藤会員、須藤会員、寺田会員、柴田会員、勝間田会員、内海会員、小林会員、斉藤会員、杉浦会員、本多会員、酒井会員、虻川会員、田村会員、太田会員、白井会員、田中会員、篠塚会員、白幡会員、大西会員、地引会員、山田会員、小松会員、尾身会員

（ご意向）鈴木代表から旧ラジウム温泉センタービルの大規模修繕工事を頂きました。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

【30件 48,000円 今年度累計 1,125,000円】



■卓話（紹介者：プログラム担当 田中委員）

「インニエーションスピーチ」
当クラブ会員 金城健二様

株式会社優健工業の金城健二と申します。まずはこのような貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございます。過去に一度も30分間も自分のお話をさせて頂くこともなく、自分自身初めての経験にはな

りますが、精一杯やらせて頂きますので、どうぞよろしくお願い致します。まずは簡単に会社概要から紹介させていただきます。株式会社優健工業、今期で12期目を迎えております。個人事業主5年も含めると、創業17年目になります。会社は江戸川区の葛西と西葛西にあります。業種は建築内装工事業をやらせて頂いております。続いて私の自己紹介をさせていただきます。金城 健二 昭和55年9月14日現在40歳を迎えております。出身地は江戸川区の葛西でして、生まれも育ちも葛西、現在も西葛西在住し、葛西に会社もあります。両親が二人とも沖縄でして、身内はみんな沖縄にいまして、誰一人と沖縄を出ていないといった、そんな家系でございます。名前が金城と言いまして、ご存知の方はいると思いますが、金城と言う苗字は基本的に沖縄の人で、よく「カネシロさん」と呼ばれることも多いのですがたまに金城と名前を言ったときに、私も金城さんって方知ってますが、親戚ですか？とよく言われることもあるのですが、沖縄ですと全くとして珍しくもなく、このように金城と言う苗字は比嘉さんの次に多い苗字で、比嘉と金城で約10万人を超えております。親戚どころか周りは、隣も前も皆金城と伺っております。続いて、こちらはうちの金城家のお墓でして、沖縄特有の大きなお墓です。こちらは過去の法事の時に撮った写真なんですけど、このようにして、お墓のスペースの中に敷物を敷いてからみんなで食事をします。うちの娘が準備をしている写真なんですけど、これが沖縄での伝統行事となっております。こちらのスライドを先日から作らせていただいて思い出したのですが、本日11月18日は父親の命日として、ちょうど14年前の今日11月18日に、父が他界しました。当時まだ55歳でした。死因は脳幹出血で倒れ、たまたま家の中で倒れたので、母親がすぐに救急車を呼んで、奇跡的に一命はとりとめたのですが、1年持たず、約10カ月でこの世を去りました。普段は法事とかがないとあまり思い出さないので、このスライドを作りながら父親の事もそうでしたし、過去の色々な事を振り返ることができました。本当はこのスピーチも、出来れば先延ばししてもらいたかったのですが、このタイミングでこのインニエーションスピーチの機会がなかったら、もしかしたら、ここまで考えることも無かったよう

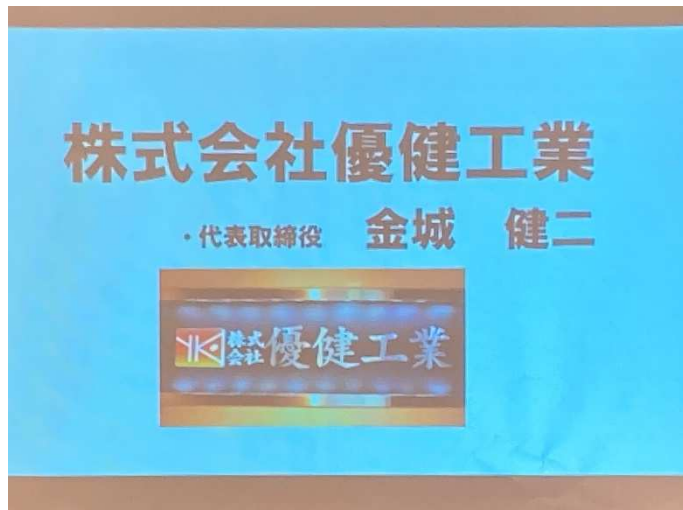
な気がします。これも何かの知らせなのかなと感じ、本当に身体の事もそうですし、私も40歳なので来年も厄年という事もあり、さらに40代のスタートでもあるので、凄く色々と感じることがありました。本当に改めてこのタイミングに、こんな貴重な機会を頂き、本当に感謝しております。そして父親は私が25歳の時に倒れてしまったので、実は今まで25年間、父親の過去の事とか、沖縄での事とか、一度も聞いたこともなく、しかも、父親の口から沖縄の方言を一度も聞いたことがありませんでした。母親から聞いたのは、私のばあちゃんからは凄く可愛がられていたのですが、なにがあったか、急に沖縄を18歳の時に飛び出して、最初は神戸に行き、その後東京に来たらしいです。その時に、沖縄というだけで、凄く馬鹿にされたり、就職が出来なかったり、仕事もさせてくれなかったりと、凄く嫌な想いをしたらしいです。その反動、つらい思いで沖縄という影を消したのではないかなと思います。しかも私が2歳の時に一緒に沖縄に帰ったきり、その後は、一度も帰ってないと思います。約20年間父は沖縄に帰ることなく東京で家族を守るために頑張ってくれました。うちの父親は長男だったので、いずれは当然帰らなければいけないので、その予定だったとは思いますが、こっちで亡くなってるので遺体とともに、荷物と一緒に飛行機で最後は帰ることになってしまいました。20年ぶりに帰ってきて、ばあちゃんも、爺ちゃんも、本当に無念だったと思います。そして、こちらは愛する家族の紹介をさせて頂きたいと思います。今年はコロナとかもあって、家族写真が少なかったのですが、今年の娘の卒業式と、子供たちの誕生日とかの写真を載せさせて頂きました。うちの妻なんですけど、私の一つ下なんですけど、付き合った当時はまだ高校生でして、そこから5年付き合い合ってから24歳の時に結婚し、今は結婚歴16年目で、今となっては人生の半分以上一緒におります。当然今までも色々とはありましたが、なんとかいろんな一線も超え、今は仲良くさせて頂いております。続いて私の幼少期の時のお話をさせて頂きます。私、幼少期の頃、凄く体が小さかった為、小学校入学式の時に、1メートルなく95センチで入学しまして、中学生に入学してから中一で133センチ、体重が30キロ、中学校1年生でしたが当時の小学

校3、4年生ぐらいの体の大きさしかありませんでした。小中高は野球少年、野球をやっていたんですがスポーツ、体を動かすことが基本好きで、特に球技が好きで、勉強は苦手だし嫌いで外で遊ぶことが多かったそんな幼少期でありました。体が小さいことから、特に嫌われたり、いじめられた事も一度も無かったのですが、俺なんかは、俺なんかはというような感じで、凄く自信が無く、何やっても自分は必要とされているのかなと凄く思うようになって、小さい時や、子供の頃、学生の時になんか勝った経験といいますか、勝ち経験や、成功体験が自分自身の自信になっていくと思いますが今本気で振り返っても、私、勝った経験というか、自分の自信に繋がるような成功体験が本当になく、リーダーシップ的な事も一度も無いんです。特に目立たない訳でも無く、目立つ訳でも無い、何か活躍する事もない学生時代でした。ただ自分の好きなことに対しては負けたくないなという気持ちはずっと有りました。学歴なのですが、ずっと生まれてからは葛西です。小学校は江戸川区立第7葛西小学校、中学校は江戸川区立葛西第三中学校、そして高校も葛西で都立葛西南高校に入学し、ずっと葛西で、ほんと狭い世界でした。そして、こちらは小学校4年生から始めた少年野球チームで、村社さんはよくお分かりだと思えますが、七船スターズというチームで三年間やりました。私、男三兄弟でして、今、大人になって改めて感じることは、家は貧しいって程ではないと思いますが、決して裕福な生活ではなかったと大人になって感じております。何を買うのも食べるのも、全て三等分、よくヨーグルトとかゼリーとかは冷蔵庫にあってはしたのですが、必ずパックの三個入りのものばかり、1個単独のものはほとんどなかった気がします。子供の頃はそれが当たり前だと、好きなものを好きな分だけ食べれる、好きな分だけ買えるとか、そういうのはなかったと思っております。しかも外食なんかはほとんどなく、子供の日とか、特別な日だけがジョナサンとかのファミレスで食事が出来るそんな家庭でした。旅行もほとんど行かなかったことがなく、本当に過去の経験値というか、いいものに触れて行く事がほとんど無く、今思えばすごく狭かったというか、もうちょっといろんな体験をしてくればよかったなと思っております。それでも両

親は一生懸命、男三兄弟を育ててきてくれたと感謝しております。そして高校生活は一応、硬式の野球部には入ってやっていたのですが、遊びもしたいし、お金も欲しいし、バイトもしたいしとなんか中途半端な感じでした。中途半端に悪いこともしてきたし、だからなんかホント中途半端に嫌なこともいっぱいありました。そしてなんとか高校は卒業できたのですが、就職活動にも失敗し、相変わらず、成功体験が中々ないまま、学生生活を終えました。この頃は、学歴、学力ない、組織が嫌いと思いたくなというのは、みんな職人になっていった。私もそのうちの一人で、そこからのこの建設業スタートでした。18歳の時から見習いをやって、そこから仕事に本気ではまってきたのは20歳を過ぎたぐらいからでして、見習い5年程で23歳の時に独立し、一人親方としてスタートを切りました。そこから、また5年後に、法人化し、今の優健工業として新たにスタートを致しました。それから何とか独立してから15年間、無我夢中で仕事して、毎年毎年、なんとか売上だけは少しずつ増え続けてはいたのですが、人も増え、受注規模も大きくなってきた時に、なんか自分自身に不信感というか、なんか凄く物足りなさといえますか、凄く不安がありました。会社が成長していく中で、自分は何か挑戦をしているのかなと凄く思っただけ、その頃はどうしたらいいかわからないし、人脈も無ければ、情報も少なかったもので、誰に聞いたらいいかわからないし、周りにも特に目立って活動してたり動いたりしている人もいなかったもので、自分自身も凄く閉鎖的だったかなと思います。俺はこういうのは苦手だとか、こういうのは自分には関係ないだとか、とにかく人との関わりも苦手だとか、一歩踏み出せない自分がいて、勝手に自分自身を締め付けていました。そんな中、ある大きなきっかけとなった、自分の中では凄く情けないなという出来事がありました。それは2014年あるクライアント、元請さんの忘年会での出来事でした。そのクライアントも過去の私のクライアント、元請けではなく、ウチの社員のお客さんの忘年会でした。最後の締めめの挨拶に私が指名されまして、その時凄くドキッとしまして、今でも鮮明に覚えているのですが、当然断るわけにはいかず、たった一言だけ言えば良いだけなのに、あまりの緊張の中、頭の中が真

っ白になり、全く何を言ってるのかわからず、その場がシーンと静まり返ったのだけは鮮明に覚えています。私だけじゃなく、社員にも恥をかかしてしまった事もあり、今まではずっと避けてきたこと、ずっと逃げてきた事がここに来て、このような出来事がありました。その後の二次会で、たまたまそこにいたある社長が私に言いました。何が見えていたのか、凄く何か内側に秘めているものがあるねと、人材教育会社アチーブメントの山本真由さんを紹介するから一度本音を話してみなと言われて、その山本真由さんがゆくゆく私の担当者、メンターになってくれたのですが、翌年の2015年4月にアチーブメントのスタンダードコースというものを受講しました。それがきっかけで自分自身が変わっていったのかなと思います。そんな中、またあるきっかけで、異業種交流会というものに人生初めて行ったって、こんなものが世の中にあるんだ、という事も知りまして、そこからはとにかくいろんな人とあって、自分自身を変えたいなと思って、とにかく自分の苦手な部分とかを改善していこうと思ひ、色々な組織、団体とにかく入って行きました。そこからはとにかく人から人へと繋がりを求めて、ここ4、5年はいろんな人と会うこともできました。そして多数の所属団体があまりにも多くなり、全てを参加することすら出来なくなったりと、ホント色々ありました。そんな中、建設業団体でも、甲子園の仲間もいっぱい居ると思うんですけど、今ロータリーの仲間でもある人たちとも、こうして一緒に活動していけるほどの繋がりも出来ました。ただここからは、しっかりと自分自身も判断していかなければならいと感じております。なんて言いますか、ここにある団体は全てではないのですが、居心地がいいといえますか、楽しいし、みんな仲がいいしとか、ついつい甘えてしまう部分があるかと思ひます。こちらのロータリークラブでは、なんか凄く緊張感がありますし、人としても経営者としても、他にはない感覚があります。独立したのがちょうど17年前ですが、内装、壁とか天井を作る建設業の職種で独立させていただきました。村社社長と同じ職種でやらせていただいているんですが、以前にある会社の総会、何百人も経営者が来るんですが、その時に地元が近い村社社長を紹介してくれよう何社かの担当者が繋げ

てくれようとしたんですが、村社社長はいろんな人に囲まれてすごく忙しそうで声をかけづらく、人気者でその中に入りづらくて諦めました。ご縁でロータリーに入り村社社長にお会いした時、私が一方的に知っていたんですが凄くびっくりして、それも自分が行動を起こしているからこそこういうことが繋がっていくのかなと本当に感謝しております。いつも思っている事なんです、人は一生学び続ける必要がある、現状維持は衰退していくだけ、継続学習・学ぶことをやめたら成長は止まると思っております。継続は力なり、何事もやり続けることにより成果、結果が必ずついてくると思います。ロータリークラブに入会させて頂き、一番に感じたのは本当に素晴らしい経営者の方々、本物とはここにあるなと感じました。本物は感じていくには、本物に触れてこそ、さらに成長していけると感じました。臨海ロータリークラブを通じて、人としても男としても、経営者としても成長していけるよう、頑張っていきたいと思っております。まだまだロータリークラブの事を何もわからないのですが、まずは自分自身できる事からやっていきたいと思っております。そして入会式の時にも言わせて頂いたのですが、まずは毎週の定例会は必ず出席する事。そして共に学び、共に成長したいと思える仲間を5人入会してもらう事を自分自身の目標として行きたいと思っております。今後とも末永くご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。以上となります。 ご清聴ありがとうございました。



■ 点鐘：佐久間裕章会長

金城さんイニシエーションスピーチありがとうございました。また村社さんが以前から金城さんにマウンティングをとっていたという事実がわかりました。今年度5人ご紹介いただけるということなので、伊藤さんがきっかけとなって臨海RCが、また繁栄の1つになってくるのかなと思いますし、皆様の御研鑽に繋がるのではないかなと思っております。本当に継続は力なりと言うことで、私も今年度は何故こんなに増強増強という話をさせていただくかということ、やはり最初に50名クラブを作ると話させていただいた時に50人いくと、なんとなく、もうこれでいいやみたいところができて、それだと成長が止まってしまうのではないかなということ常々、この増強を止めずに言わせ続けさせていただきます。ですので皆様、周りに仲間がいらっしやいましたら、このクラブに入会を薦めていただければと思います。薦める際に自分の自己研鑽・自己成長に繋がると＝会社の発展に繋がる、そして家庭円満に繋がるというふうに私は思いますので、ぜひ皆様今後ともよろしくお願いいたします。

当クラブ12月9日(水)の予定

- ・ 年次総会
17:30～
- ・ 例会・会員忘年会・東京臨海北斗RSC発足式
18:00 登録開始
18:30 開会
20:30 閉会

会場：東武ホテルレバント東京4階「錦の間」
※12月9日は、お昼の例会はありません。

■家庭集会 ロータリーの魅力とは？
・第2グループ



- 人間的に成長する事の目的、会社を大きくする目的を教わった。常に成長し続ける環境。社員のために成長できる。一月で三万、四万の会費で本物を味わえる。地方行くとロータリーのメンバーというだけで信頼してもらえる。社会的、人間的に認められる。社会的信用が違う。
- もっと成長しよう、もっと違う未来の為に挑戦しようと思えるようになっていった。今は社員のために、関わる人達の為に勉強しようと思える。ロータリーには先輩方、魅力的な方が多い。本当に実践していて本物の人達がいる。テレビでも本ではなく、実際にこちらの社長達から学べる。素晴らしい組織、団体である。
- 今までの人脈では、この先、自分も会社も成長が厳しい。ロータリーに入れば今後やりたい事も含めて実現できる。
- 企業には利害関係はあるが、そうではない。同等でいける。遠慮なく、聞きたいことは聞く。関係性を広げる場所。
- 他団体や組織にない緊張感と本物の方々が凄く多い。ステージの高い感じが一番の印象的な部分。自分自身の成長と会社の成長に間違いなく良い組織。

・第5グループ



- 全国・全世界にロータリアンがいるため、全国・全世界のロータリークラブで交流が出来る。自分の会社が儲けるために活動するのではなく、社会に還元するために活動を行っている。自分の会社の枠を超えて地域の為に活動を行う。国際交流や国際奉仕が出来る。オレンジボールやパラボール、らいおんハート、ゴミ拾い等地域での奉仕も出来る。お金を入れるだけでなく、実際に身体を使い奉仕が出来る事も魅力である。毎週末奉仕活動をしている人もいる。オレンジボール等の社会奉仕活動を通じて仲良くなった人もいる。他の人の社会奉仕活動を見て勉強になることもある。
- 入会したばかりでまだ奉仕活動については分からない事もあるが、例会に出続ける事で色々な人と会う機会が増え人脈が広がる。人が減っている話を聞き、東京臨海ロータリークラブの勢いが凄い事は実感している。
- IMについては他のクラブと交流が出来るので行って良かった。RLIは朝から夜(9:30~17:00)まで缶詰で勉強するが、非常にロータリーについて勉強出来て面白い。RLIは入会間もない会員にとっては勉強になると思う。他のクラブは新入会員の研修で使っている。そこで交流が図ればメイキャップに行きやすくなる。
- ロータリーに入ったならば地区に出で色々な人と交流することも楽しみだと思ふ。せっかくロータリーに入ったのだから、120%楽しむためには地区に出るのも良い。逆に肩の力を入れずにゆっくりロータリーライフを楽しむのも一つの楽しみ方である。米山奨学生は全体的に非常にレベルの高い方が集まっている。
- ロータリーは全国ネット、世界ネットである。自分の職業のみの業種での交流ではなく、幅広い職業の方と交流することが出来る。非常に他の経営者の方から刺激を受けている。
- ロータリーに入って鼻をへし折られた。その為成長できたと実感している。
- 入会のきっかけはゴルフの練習だった。ロータリーに入るとゴルフが上手くなると思った。
- ロータリーは一流企業の役員が入っていたり、外交官が入っていたりする。地区協が終わった時達成感があった。感動した。70年に1回しか回ってこない。

我がクラブのロータリーメンバーは結束力があつた。打ち合わせをしてクラブに持ち帰った後の皆の結束が凄かつた。

- 期待も不安もまだ分からないが異業種で集まれることは楽しみである。
- ロータリー入ったきっかけはバギオだった。ロータリーに入ると売上げが伸びる。ロータリーに入ると裸の大将にならない。叱ってくれる人がいるのは幸せ。事業継承等も勉強になる。面倒見がいい人が多い。導いてくれる人がいる。尊敬できる人が多い。CSR 等お金の使い方も勉強になる。社員が多くても自分の間違いを指摘してくれる人は少ない。ロータリーに来ると時には否定されることが嬉しい。プライドが傷つく事もあるが、おかげで社員の気持ちがわかることもある。ロータリーの魅力は人だと思う。クラブや地域で色々な人と交流が持てる。年齢が60を超えて、70を超えて気兼ねなく飲める友人が出来る。年を重ねる毎に絆が深まっていく。学生や仕事ではない仲間は面白い。刺激を受けることで、切磋琢磨することが出来る。学びも多い。親睦はキーワードである。そこに奉仕も加わっていく。クラブはクラブで面白いが地区に出るとまた違った刺激もある。色々な楽しみがある。せっかく入って時間やお金を費やしているなら、楽しんで自分を高められたら良い。積極的にクラブ運営に携わると違った景色が見える。

・第7・8グループ



- 人がやってないことを自分が先回りしてやっていく姿を目の当たりにして価値を感じた。
目配り気配り心配りというところが一番大好き。利益とは利得利潤、役に立つこと、ためになること。という所を自分の会社に落とし込んでいけるところがよかった。
- 夜の食事が一番価値のある経験で所作とかを学ぶと

ころがおおきかつた。経営者としての経験がたくさん知れてよかった。

- 入ってやんちゃだったがいきなり更正した。真面目になった。ロータリーで学んだことを忠実に学んで売上げも倍増した。今年は厚労省経産省からも賞をもらった。ロータリーがきっかけで大学院生にもなった。社員の幸せを考えるようになった。福利厚生までを考えて働き方を考えるようになった。泣き言を言っても喝を入れてくれる仲間が増えてよかった。
- 今まで周りにいた人とロータリーの中にいる人では成果が大きく違った。ほんとにすごい人がいると感じた。自身の事業においてもあたらな事業展開が出来るきっかけになったのもロータリーだった。自分自身の事業のことを深く考えるきっかけになったことがよかった。
- どうなっていかなきゃいけないか身に染みて感じた。素晴らしいかたが多いのでその方々と対等に語り合えるようになりたいという目標が出来た。
- より厳しい所に身を置いて自らの成長に繋げていける環境がすごくいいと感じた。この臨海独自の経営勉強会の活動とかもすごく魅力的だった。
- 経営者の中でも創業者の方が多いので這い上がる精神がものすごいと感じた。独自の活動も多いのは魅力的。自己の成長に繋がる。実績、実益共に素晴らしい方が集まっている。その方々が親身にアドバイスしてくれるのがほんとに成長に繋がっている。
- 平均年齢が若いクラブなのにほんとにみんな真面目に学んで成長しようとしているこのロータリーがすごくいいと思っている。例会の雰囲気も成長の雰囲気が伝わるのかビジターの方も即決で入ってくれる。
- 60歳過ぎて友達と呼べる存在を作りたい。同じステージの方々と近い価値観の会話が出来ると仲間が作れる場が素晴らしい。